

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5 年 1月 28日

公表:令和 5 年 2月 21 日

事業所名 放課後等デイサービスあお

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100.0%	0.0%	利用児童の通所人数や学年等によるグループ化といった工夫を行なっています。	
	2 職員の配置数は適切である	100.0%	0.0%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	87.5%	12.5%		和室と居間の段差について今後解消する事が出来るように検討しています。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100.0%	0.0%		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%	評価表で頂いたご意見を次年度の業務改善へ向けた取り組みを行っています。	貴重な意見を頂くことが出来るよう3か月1度にアンケートの実施や意見交換を行ない、より良いプログラムや環境構成に努めます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	75.0%	25.0%	FacebookやInstagram、HPからアクセスする事で閲覧が可能となっています。	HPの更新が遅滞してしまっている為、業務改善として策定しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0.0%	100.0%		今後、検討させていただきます。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	75.0%	25.0%	現状では、オンライン等の研修に積極的に参加し、職員のスキル向上を努めています。	リモート以外の研修に参加の機会が減少している。道内、市内のコロナ、インフルエンザ等の感染者数を見て検討します。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	随時状況に応じて保護者との情報共有を行ない、課題に即した内容の計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100.0%	0.0%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%	0.0%		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100.0%	0.0%	一人一人のお子様が多様な体験を通して視野を広げる事が出来るようなプログラム構成を努めています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100.0%	0.0%		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	ミーティングの時間をしっかりと確保し、一日のプログラム内容や担当等について確認を行なっています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100.0%	0.0%	支援内容だけではなく、保護者や学校、保育所等での引き継ぎを共有し、適切な支援が出来ているのかを確認しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%	記録を残す場合は手書きではなく、PCやタブレット等からの記録を取ることが出来、支援方法の改善や見直し、時間の確保等に繋がる事でプログラムの改善へと繋がっています。	各利用者の動画等の保存を行ない、又日々の記録からより簡単に把握に繋ぐ事が出来るよう検討しています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%	必要に応じてその都度課題の整理を行ない、課題に向けた取り組みや適切な支援についての見直しを図ります。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100.0%	0.0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%	原則として児童発達支援管理責任者が参加していますが、場合によっては担当指導員の同席を行なって情報提供をしています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	87.5%	12.5%	学校教諭との直接的な連携が難しい場合には、保護者を通して情報共有を行ないます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			現在対象となる児童が在籍しておりませんので回答できませんが、必要があった際には各関係機関との連携を図り、利用児童が安心してできるよう配慮させていただきます。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100.0%	0.0%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			現在対象となる児童が在籍していませんので未回答。要があった際には各関係機関との連携を図り、利用児童が安心してできるよう配慮させていただきます。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100.0%	0.0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50.0%	50.0%		コロナ禍により感染防止等の理由によって交流の機会は減少しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0.0%	100.0%		機会があれば参加させていただきたいと思っております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100.0%	0.0%		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%	相談/苦情があった際には、迅速な対応をすることが出来るよう取り組んでいます。事故報告【インシデント・アクシデント・ひやりはっと】や相談/苦情解決報告をまとめ、職員間での情報共有を図る事で、解決、再発防止に努めています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100.0%	0.0%	道内/市内でのコロナ感染者の状態に応じてですが、親子クッキングや保護者交流会等を開催して交流となっています。	父母の会の設置を行い、保護者様の連携を図ることが出来るような体制を検討しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%	苦情があった際には、迅速な対応をすることが出来るよう取り組んでいます。事故報告【インシデント・アクシデント・ひやりはっと】や苦情解決報告をまとめ、職員間での情報共有を図る事で、再発防止に努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%	月2回会報の発行や連絡帳アプリを使用して随時連絡・イベント内容の配信を行なっています。	
	35	個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%	個人情報使用承諾書に記載されている事項を説明し、了承を得ている事項のみの使用。又は記載されていない事項に関しては、必ず保護者への情報開示についての説明を行ない、同意を得てからの使用となります。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100.0%	0.0%	他施設との交流やイベントがある際には、事業所職員及び利用児童以外の方が参加して交流をしています。	コロナ禍により感染防止等の理由によって交流の機会は減少しています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100.0%	0.0%		マニュアルの再精査や随時保護者への周知を努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	75.0%	25.0%	年2回以上は、災害を想定した避難訓練を行なっています。	火災、地震の災害に加え、不審者等の対応訓練を行なう事を検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100.0%	0.0%	生命の危機等の危険性がある場合に限り、身体拘束を行なう事に対して保護者への説明と同意書への署名を頂いています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100.0%	0.0%	医師からの指示書及び保護者の聞き取りによって対応方法を検討しています。又様々な資料や教育機関等で使用されているガイドラインを参照して判断をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	ヒヤリハット、インシデント、アクシデント報告書の作成を行ない、職員との情報共有や再発防止に繋ぐ事が出来るよう努めています。	

